

# 政策シート 政策名 05 国民健康保険事業の健全で安定した運営

予算費目名 01 国民年金費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

**理想の姿 (30年後)** ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

**政策の柱 (10年後)** ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。  
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 01 人と人とのつながりをつくる社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

国からの法定受託事務として、国民年金第1号被保険者を対象とした資格取得、保険料免除申請、基礎年金及び年金生活者支援給付金受給請求等に関する事務を行い、国民年金事業を推進する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	7,878	7,771	10,702			
決算	6,711	6,123				
人件費(報酬等)(A)		3,589	3,604			
人件費(人工分)(B)	7,700	7,700	7,700			
年間経費(予算又は決算+A+B)	14,411	17,412	22,006			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

国からの法定受託事務として、国民年金第1号被保険者を対象とした資格取得、保険料免除申請、年金受給請求等に関する事務を行い、国民年金事業を推進した。

<進捗> 計画通り

国からの法定受託事務として、国民年金第1号被保険者を対象とした資格取得、保険料免除申請、年金受給請求等に関する事務を行い、国民年金事業を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	国民年金受託事務事業	—	—	○		13,853	3,249	1.0				3,604
2	(新規)国民年金デジタル 運営経費	—	—	—		8,153	7,453	0.1				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						22,006	10,702	1.1				3,604

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 国民年金受託事務事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

高齢者、障がい者、遺族の生活の支えとなる国民年金事業の推進を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S36	-	一般会計	法定受託事務	国民年金法第3条第3項、国民年金法施行令第1条の2

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	国民年金事業の推進により、安定した年金受給に基づく健康的な生活を確保する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	7,878	7,771	3,249			
	決算	6,711	6,123				
	国・県支出	6,711	6,123	3,249			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)			3,589	3,604			
人件費(人工分)(B)		7,700	7,700	7,000			
人工	正規	1.1	1.1	1.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,411	17,412	13,853			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
05 01 05 01 001043000 01 国保年金課 竹村 吉弘 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

国民年金第1号被保険者(自営業者、学生等)を対象として、資格取得、保険料免除申請、基礎年金及び年金生活者支援給付金の受給請求に関する相談、受付、事実の審査を行い、日本年金機構(名古屋広域事務センター、浜松西・浜松東年金事務所)に報告及び情報提供等の事務を行う。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

国民年金第1号被保険者(自営業者、学生等)を対象として、資格取得、保険料免除申請、基礎年金及び年金生活者支援給付金の受給請求に関する相談、受付、事実の審査を行い、日本年金機構(名古屋広域事務センター、浜松西・浜松東年金事務所)に報告及び情報提供等の事務を行った。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化(新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

保険料免除の臨時特例措置の継続など新型コロナウイルス感染症に伴う影響  
ひとり親控除など税制改正に伴う国民年金法の改正



#### 6 事業の見直し(Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  現状  人工  現状

国民年金第1号被保険者に係る事務は、国からの法定受託事務であるため。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  現状  人工  現状

国民年金第1号被保険者に係る事務は、国からの法定受託事務であるため。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

国民年金第1号被保険者(自営業者、学生等)を対象として、資格取得、保険料免除申請、基礎年金及び年金生活者支援給付金の受給請求に関する相談、受付、事実の審査を行い、日本年金機構(名古屋広域事務センター、浜松西・浜松東年金事務所)に報告及び情報提供等の事務を行う。

# 事業シート (事業名) 02 (新規)国民年金デジタル運営経費

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

高齢者、障がい者、遺族の生活の支えとなる国民年金事業の推進のため、国民年金システムの改修等を行う。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S36	-	一般会計	法定受託事務	国民年金法第3条第3項、国民年金法施行令第1条の2

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	国民年金事業の円滑な推進により、安定した年金受給に基づく健康的な生活を確保する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			7,453			
	決算						
	国・県支出			7,453			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				8,153			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
05 01 05 01 001043000 02 国保年金課 竹村 吉弘 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)  
ひとり親控除など税制改正に伴う国民年金法の改正



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  現状  人工  現状

国民年金第1号被保険者に係る事務は、国からの法定受託事務であるため。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

法改正に伴う国民年金システムの改修を行う。(国民年金受託事務事業からの組み替え)

# 政策シート 政策名 05 国民健康保険事業の健全で安定した運営

予算費目名 02 後期高齢者医療事業費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

**理想の姿 (30年後)** ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

**政策の柱 (10年後)** ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。  
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 01 人と人とのつながりをつくる社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

75歳以上の高齢者等を対象とした制度であり、都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合と市町村が事務を分担し運営。  
本市は、静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、健全で安定した後期高齢者医療事業を運営する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	9,057,823	9,262,051	9,523,029			
決算	9,010,716	9,196,803				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	11,900	11,900	11,900			
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,022,616	9,208,703	9,534,929			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

・高齢者の健康の保持増進と疾病の早期発見を目的として、広域連合が策定する健康診査推進計画に基づき、広域連合から委託された健康診査を実施する。(後期高齢者健診事業)  
・後期高齢者の保険給付費に係る財源のうち、公費負担分の割合は約5割で国：都道府県：市町村がそれぞれ4：1：1の割合で負担する。一般会計より負担対象額の6分の1相当金額を負担する。(療養給付支援事業)  
・低所得者等の保険料軽減分については、都道府県と市町村が3：1の割合で公費から負担する。一般会計から特別会計へ繰り出し、特別会計から広域連合に納付する。(後期高齢者医療事業特別会計繰出金)

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
高齢化や医療技術の高度化等により高齢者の医療費が増加している中で、広域連合と連携し公費負担や健康診査等を実施することにより、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図ることができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	後期高齢者健診事業	—	—	—		409,711	405,511	0.6				
2	療養給付支援事業（負担金）	—	—	—		7,159,213	7,157,813	0.2				
3	後期高齢者医療事業特別会計繰出金	—	—	—		1,966,005	1,959,705	0.7			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						9,534,929	9,523,029	1.5			0.5	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	01	05	02	001043000	01	国保年金課	竹村 吉弘	R3.7.1

## 事業シート (事業名) 01 後期高齢者健診事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

健康の保持増進と疾病の早期発見を目的として健康診査を実施し、後期高齢者医療事業の健全で安定した運営を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)	静岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例等施行規則

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	・健診を受診させることで、生活習慣病の発症、重症化を予防し医療費等の適正化を図る。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	394,408	409,393	405,511			
	決算	377,633	365,446				
	国・県支出						
	市債						
	その他	252,953	238,247	282,529			
	一般財源	124,680	127,199	122,982			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,200	4,200	4,200			
人工	正規	0.6	0.6	0.6			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		381,833	369,646	409,711			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 01 政策 05 予算費目 02 所属コード 001043000 事業 01 (担当課) 国保年金課 (責任者) 竹村 吉弘 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

##### 【健診の実施】

問診、腹囲、身体計測、診察、血圧、検尿、血液検査(脂質・肝機能・血糖)など

##### 【受診率向上対策】

- ・「健康診查のお知らせ」を作成し、全戸配布
- ・受診券をがん検診受診券と同時に発送
- ・各区で受診券の再発行



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・令和2年度受診率26.5%
- ・「健康診查のお知らせ」を作成し、全戸配布
- ・受診券をがん検診受診券と同時に発送

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  現状  人工  現状

- ・「健康診查のお知らせ」を作成し、全戸配布
- ・受診券をがん検診受診券と同時に発送
- ・各区で受診券を再発行

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  現状  人工  現状

- ・「健康診查のお知らせ」を作成し、全戸配布
- ・受診券をがん検診受診券と同時に発送
- ・各区で受診券を再発行



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

##### 【健診の実施】

問診、腹囲、身体計測、診察、血圧、検尿、血液検査(脂質・肝機能・血糖)など

##### 【受診率向上対策】

- ・「健康診查のお知らせ」を作成し、全戸配布
- ・がん検診受診券と同時に発送
- ・各区で受診券の再発行

## 事業シート (事業名) 02 療養給付支援事業(負担金)

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

保険給付費の約5割の公費負担のうち1/6を市負担分として後期高齢者医療広域連合に負担することにより、後期高齢者医療事業の健全で安定した運営を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)	高齢者の医療の確保に関する法律

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	事業を実施することで高齢者の医療や健康的な生活を確保することができる。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,863,102	6,936,002	7,157,813			
	決算	6,863,102	6,936,002				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	6,863,102	6,936,002	7,157,813			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400			
人工	正規	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,864,502	6,937,402	7,159,213			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 01 政策 05 予算費目 02 所属コード 001043000 事業 02 (担当課) 国保年金課 (責任者) 竹村 吉弘 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

保険給付費に充てられる財源は、公費、現役世代が負担する後期高齢者支援金(交付金)、被保険者からの保険料が柱となる。

後期高齢者の保険給付費に係る財源のうち、公費負担分の割合は約5割であるが、国:都道府県:市町村がそれぞれ4:1:1の割合で負担する。本市は高齢者の医療の確保に関する法律第98条の規定に基づき、静岡県後期高齢者医療広域連合に対し、一般会計より負担対象額の6分の1に相当する金額を負担する。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

高齢者の医療の確保に関する法律第98条の規定により、静岡県後期高齢者広域連合から示された療養給付費負担金(市負担金)を遅滞なく支出した。

令和2年7月6日 2,774,400,000円  
令和2年9月7日 2,774,400,000円  
令和3年1月5日 1,387,201,276円  
計 6,936,001,276円

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

法令に基づく事業であり、現状のとおり継続する。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

法令に基づく事業であり、現状のとおり継続する。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

保険給付費に充てられる財源は、公費、現役世代が負担する後期高齢者支援金(交付金)、被保険者からの保険料が柱となる。

後期高齢者の保険給付費に係る財源のうち、公費負担分の割合は約5割であるが、国:都道府県:市町村がそれぞれ4:1:1の割合で負担する。本市は高齢者の医療の確保に関する法律第98条の規定に基づき、静岡県後期高齢者医療広域連合に対し、一般会計より負担対象額の6分の1に相当する金額を負担する。

# 事業シート (事業名) 03 後期高齢者医療事業特別会計繰出金

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

高齢者の医療の確保に関する法律第49条の規定に基づき、市町村は後期高齢者医療に関する収入及び支出について、特別会計を設けなければならないとされている。保険基盤安定制度による所得の少ない者等の保険料軽減分の補填、静岡県後期高齢者医療広域連合への事務費負担金、本市の後期高齢者医療業務に要する経費等として一般会計から特別会計へ繰出す。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20	-	一般会計	自治事務(法令事務)	高齢者の医療の確保に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性									

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,800,313	1,916,656	1,959,705			
	決算	1,769,981	1,895,355				
	国・県支出	1,100,783	1,187,907	1,195,241			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	669,198	707,448	764,464			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	6,300			
人工	正規	0.7	0.7	0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,776,281	1,901,655	1,966,005			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
05 01 05 02 001043000 03 国保年金課 竹村 吉弘 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出する。

- ・保険基盤安定制度に基づく繰出金  
低所得者に対する保険料軽減負担分  
被用者保険の元被扶養者に対する保険料軽減負担分
- ・後期高齢者医療事業繰出金  
広域連合負担金及び業務運営経費



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

- ・保険基盤安定制度に基づく繰出金 1,583,876,054円
- ・後期高齢者医療事業繰出金 332,779,000円

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

法令に基づく事業であり、現状のとおり継続する。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

法令に基づく事業であり、今後も市として負担すべき金額を遅滞なく支出する。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出する。

- ・保険基盤安定制度に基づく繰出金  
低所得者に対する保険料軽減負担分  
被用者保険の元被扶養者に対する保険料軽減負担分
- ・後期高齢者医療事業繰出金  
広域連合負担金及び業務運営経費

# 政策シート 政策名 05 国民健康保険事業の健全で安定した運営

予算費目名 03 国民健康保険事業特別会計

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

**理想の姿 (30年後)** ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

**政策の柱 (10年後)** ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。  
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 01 人と人とのつながりをつくる社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

国民健康保険の健全で安定的な財政運営と、効率的な事業を推進する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	76,364,770	74,314,386	71,710,796			
決算	75,448,884	73,314,666				
人件費(報酬等)(A)	138	5,216	5,204			
人件費(人工分)(B)	215,300	206,100	198,300			
年間経費(予算又は決算+A+B)	75,664,322	73,525,982	71,914,300			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
保険料現年分収納率	%	目標	92.4	92.8	93.2	93.6	94	94.4
		実績	92.22	92.79				
特定健診受診率	%	目標	36	39	42	46	47	48
		実績	32.9	R3.11確定				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

国民健康保険の健全で安定的な財政運営と、効率的な事業を推進した。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
【保険料現年分収納率】	・「国民健康保険料滞納削減第4期アクションプラン」に基づき、収納率向上対策を実施した。 ・現年分収納率目標値92.80%に対し92.79%となった。
【特定健診受診率】	・「第2期データヘルス計画」の目標値39.0%に対し、39.0%(見込)となった。 ・未受診者に対し、AIを活用した勧奨を行い、受診率向上対策に取り組んだ。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	国民健康保険事業特別会計	—	—	○		71,914,300	71,710,796	23.7	2.0		9.0	5,204
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						71,914,300	71,710,796	23.7	2.0		9.0	5,204

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	01	05	03	001043000	01	国保年金課	竹村 吉弘	R3.7.1

## 事業シート (事業名) 01 国民健康保険事業特別会計

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

国民健康保険事業の健全で安定した運営を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S34	-	特別会計	自治事務(法令義務)	国民健康保険法、浜松市国民健康保険条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	国民健康保険事業の健全で安定した運営を行うことにより、被保険者の健康的な生活を確保する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	76,364,770	74,314,386	71,710,796			
	決算	75,448,884	73,314,666				
	国・県支出	52,556,530	51,861,870	49,939,733			
	市債						
	その他	52,466	17,248	341			
	一般財源	17,968,832	16,623,508	17,237,752			
	一般会計繰入金	4,871,056	4,812,040	4,532,970			
人件費(報酬等)(A)	138	5,216	5,204				
人件費(人工分)(B)	215,300	206,100	198,300				
人工	正規	26.7	24.7	23.7			
	再任用(h31)	4.0	3.0	2.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	8.0	9.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		75,664,322	73,525,982	71,914,300			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
保険料現年分収納率 (%)			目標	92.4	92.8	93.2	93.6	94	94.4
			実績	92.22	92.79				
特定健診受診率 (%)			目標	36	39	42	46	47	48
			実績	32.9	R3.11確定				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	01	05	03	001043000	01	国保年金課	竹村 吉弘	R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・被保険者資格の適切な管理及び保険給付を行った。
- ・適正な保険料の賦課及び収納事務により、健全で安定した財政運営に努めた。
- ・「滞納削減第4期アクションプラン(令和元年度～5年度)」に基づき、収納率の向上、累積滞納額の削減に取り組んだ。
- ・被保険者の健康維持、医療費適正化を図るため、特定健診・特定保健指導を行った。特定健診の受診率向上対策として、新たにAIを活用した受診勧奨を実施した(令和2年度～4年度)。
- ・その他、医療費適正化対策として、後発医薬品の普及促進に取り組んだ。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

【保険料現年分収納率】

- ・「国民健康保険料滞納削減第4期アクションプラン」に基づき、収納率向上対策を実施した。
- ・現年分収納率目標値92.80%に対し92.79%となった。

【特定健診受診率】

- ・「第2期データヘルス計画」の目標値39.0%に対し、39.0%(見込)となった。
- ・未受診者に対し、AIを活用した勧奨を行い、受診率向上対策に取り組んだ。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の影響

(所得減少に伴う保険料額の減、収納率の低下、保健事業の実施可否など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・保険料収納率の向上のため、各区長寿保険課や収納対策課と連携して、口座振替勧奨や滞納処分等を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、保険料減免及び納付猶予、傷病手当金の給付を実施した。(減免:R1分 846件34,776,880円、R2分 1,128件236,104,779円 ※令和3年4月末時点)(納付猶予:297件127,028,601円、傷病手当金:1件59,760円 ※令和2年度実績)
- ・新たにAIを活用した特定健診の受診勧奨は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りに進まず、効果の測定は困難だった。
- ・後発医薬品差額通知の送付及び希望シールの配布を実施した。令和3年3月の使用率は前年同月比+1.9ptの82.3%となった。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・令和3年度からスマートフォンを利用した納付手段を拡充し、被保険者の利便性と収納率の向上、累積滞納額の削減に取り組む。
- ・被保険者の健康保持増進のため、特定健診・特定保健指導を行う。特定健診の受診勧奨においては引き続きAIを活用し、受診率の向上を目指す。
- ・令和3年度も引き続き後発医薬品使用率の向上に取り組む。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・被保険者資格の適切な管理及び保険給付を行う。
- ・適正な保険料の賦課及び収納事務により、健全で安定した財政運営を行う。
- ・「滞納削減第4期アクションプラン(令和元年度～5年度)」に基づき、収納率の向上、累積滞納額の削減に取り組む。また、電子決済(LINE Pay、PayPay)を導入し、被保険者の利便性の向上を図る。
- ・被保険者の健康維持と医療費適正化を図るため、特定健診・特定保健指導を行い、特定健診の受診率向上対策として、引き続きAIを活用した受診勧奨を実施する(令和2年度～4年度)。また、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの運用を開始する。
- ・その他、医療費適正化対策として、後発医薬品の普及促進に引き続き取り組む。

# 政策シート

政策名 05 国民健康保険事業の健全で安定した運営

予算費目名 04 後期高齢者医療事業特別会計

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

**理想の姿 (30年後)** ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

**政策の柱 (10年後)** ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。  
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 01 人と人とのつながりをつくる社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者等を対象とした制度であり、都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市町村と事務を分担しながら運営を行っている。本市は静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、健全で安定した後期高齢者医療事業を運営する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	9,965,000	10,502,000	10,481,346			
決算	9,863,567	10,365,554				
人件費(報酬等)(A)		6,824	7,654			
人件費(人工分)(B)	53,900	53,900	56,700			
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,917,467	10,426,278	10,545,700			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
保険料現年分収納率	%	目標	99.41	99.42	99.43	99.44	99.45	99.47
		実績	99.50	99.58				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

静岡県後期高齢者医療広域連合と事務を分担し、後期高齢者医療事業の健全で安定した運営を行う。  
本市の事務(主なもの)  
【資格関係】 ・被保険者証の交付  
【保険給付関係】 ・各種届出、申請の受付  
【保険料関係】 ・保険料額決定通知の送付、保険料の徴収  
【静岡県後期高齢者医療広域連合との調整】

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、後期高齢者医療事業の健全で安定した財政運営を行った。  
新規被保険者に対し口座振替依頼書を送付する等、収納率向上対策を継続して実施し、令和2年度は目標値99.42%に対し99.58%となった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	後期高齢者医療事業	—	—	○		10,545,700	10,481,346	6.7			3.5	7,654
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						10,545,700	10,481,346	6.7			3.5	7,654

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 後期高齢者医療事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者等を対象とした制度であり、都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市町村と事務を分担しながら運営を行っている。  
本市は静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、健全で安定した後期高齢者医療事業を運営する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20	-	特別会計	自治事務(法令義務)	高齢者の医療の確保に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	事業を推進することで高齢者の医療や健康的な生活を確保する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	9,965,000	10,502,000	10,481,346			
	決算	9,863,567	10,365,554				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,093,586	8,470,199	8,529,295			
一般会計繰入金	1,769,981	1,895,355	1,952,051				
人件費(報酬等)(A)		6,824	7,654				
人件費(人工分)(B)	53,900	53,900	56,700				
人工	正規	6.7	6.7	6.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.5	3.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,917,467	10,426,278	10,545,700			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
保険料現年分収納率			目標	99.41	99.42	99.43	99.44	99.45	99.47
			実績	99.5	99.58				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 05 基本政策 01 政策 05 予算費目 04 所属コード 001043000 事業 01 (担当課) 国保年金課 (責任者) 竹村 吉弘 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

静岡県後期高齢者医療広域連合と事務を分担し、後期高齢者医療事業の健全で安定した運営を行う。

本市の事務(主なもの)

【資格関係】

・被保険者証の交付

【保険給付関係】

・各種届出、申請の受付

【保険料関係】

・保険料額決定通知の送付、保険料の徴収

【静岡県後期高齢者医療広域連合との調整】



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

静岡県後期高齢者医療広域連合との連携により、後期高齢者医療事業の健全で安定した財政運営を行った。新規被保険者に対し口座振替依頼書を送付する等、収納率向上対策を継続して実施したことにより、令和2年度は目標値99.42%に対し99.58%となった。

後期高齢者医療保険料は2年ごとに見直される。制度の安定的な運営のため引き続き収納率向上に努める。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・新型コロナウイルス感染症の影響



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

保険料徴収業務は市町業務とされているため、口座振替の勧奨、督促・催告書の発送のほか、納付方法のわかりやすい説明に努め収納率向上を目指した。

新型コロナウイルス感染症対策として、保険料減免を実施した。(減免:R1分 36人 484,200円、R2分 47人 2,899,900円※令和3年3月決定)

大項目  小項目  /  事業費  人工

静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、今後も健全で安定した後期高齢者医療事業を運営する。

市町業務とされている保険料徴収業務については、引き続き収納率向上を目指す。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

静岡県後期高齢者医療広域連合と事務を分担し、後期高齢者医療事業の健全で安定した運営を行う。

本市の事務(主なもの)

【資格関係】

・被保険者証の交付

【保険給付関係】

・各種届出、申請の受付

【保険料関係】

・保険料額決定通知の送付、保険料の徴収

【静岡県後期高齢者医療広域連合との調整】